

令和5年度 鹿児島県いじめ問題子供サミット



令和5年12月25日（月）、市町村自治会館において「令和5年度鹿児島県いじめ問題子供サミット」を開催しました。昨年度に引き続き、会場だけでなく、オンラインでも多くの学校等が参加しました。

このサミットの目的は、子供たち自身が語り合うことで、いじめを許さないという強い気持ちを持ち、自分たちの手でいじめをゼロにしようという意識を高めるといったものです。

「いじめ」は、誰もが「よくないこと」と知っています。しかし、実際には、相手の苦痛に気付かなかつたり、相談せずに抱え込んでしまつたり、SOSのサインを見逃してしまつたりと、様々な難しさがあるものです。このサミットでは、子供たち同士の対話とおして、いじめ問題への理解を深めるとともに、一緒になって真剣に考えてくれる仲間がいるという「つながり」を感じる場になってほしいという思いで、毎年度実施しています。

今年度も、各地区及び県立学校の代表校に参加していただき、いじめ問題の解決や防止に向けた取組を紹介していただきました。また、鹿児島市ジュニア



リーダークラブ「コアラ」による進行や会場でのサポート、動画の脚本作成等により、校種や学年を超えた、活発な議論が行われました。

代表校による取組の紹介やいじめに関する議論をもとに、いじめ防止に向けた新たな発想が生まれ、それぞれの学校や地区における取組を広げていくきっかけになることを切に願っています。

ACT1 いじめについて本気で考えよう。

Aさん・Bさん・Cさんの3人は仲良しで、いつも一緒に行動していました。ところが、ある出来事をきっかけに関係はギクシャクし始め、気まずい関係に陥ります。Cさんを気遣う周りの生徒たちも、どうすればよいか悩んでしまいます。

ジュニアリーダークラブ「コアラ」が作成した脚本に基づき制作された、高校生活の中でありがちな出来事を取り上げた動画を素材に、すれ違いやトラブルをどのようにして防ぐか、誰にどのような言葉をかけながら解決していくか議論しました。

児童生徒から出された意見

- 普段の言動から、相手を傷つける言動ではないかということを考えていく必要がある。
- いじめられている人がいたら、本人に何があったか聞いてみたり、周りの大人に報告したりすることが大切だと思う。
- 話を聞いてあげる、守ってあげる、いずれにしても自分から動くことが大切だと思う。

あなたなら、誰にどんな言葉をかけますか。



それぞれ考えたあと、お互いに意見交換しましょう。



あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり

鹿児島県教育委員会

ACT2 各地区等代表校によるいじめ防止への取組発表

いじめ問題の解決や防止に向けて、各学校あるいは各市町村等の地域がそれぞれ懸命に取り組んでいます。このサミットでは、各地区等の代表校に取組事例を発表していただきました。児童会や生徒会等が中心となり、それぞれの学校の実態に応じていじめ防止についての想いや願いを力強く訴えるものから、人権への意識や思いやりを育むものまでさまざまな取組がなされていることが伝わりました。各校による発表の一部を紹介します。



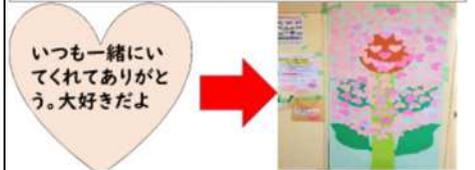
鹿児島市：鹿児島市立東谷山中学校

- 校内人権週間
「学年ごとの人権学習」、「啓発資料の読み合わせ」、「サンクスフラワーの取組」
- ニコニコ月間
「いじめに関する標語づくり」、「全校一斉道徳：いじめ撲滅宣言文の作成」

⇒ **学級・学年単位から全校全体でよい学校にしていこうとする姿勢が伝わりました。**

サンクスフラワーの取組

してもらってうれしかったこと、助けられてうれしかったことなどのエピソードを付箋に書いて用紙にはる。



鹿児島：日置市立日吉学園（後期課程）

- 絆づくり（優しい空気感づくり）
「生徒会による前期課程生への読み聞かせ」、「じゃんけん列車」
- 校則見直し委員会
「みんなが過ごしやすい学校づくり」
- アサーティブ・コミュニケーション強化週間
「アンケートの作成」、「振り返りの習慣化」

⇒ **開校初年度、全員で、みんなが過ごしやすい学校をつくろうという姿勢が伝わりました。**



南薩：南九州市立宮脇小学校

- みやわきタイム（レクリエーション）
「6年生が計画・準備」、「全校での話し合い」、「縦割り班で実施」
- みんなでなかよく過ごすための活動
「縦割り班の遊び」、「アイデアの募集と取組内容の掲示」
- 人権学習
「人権教室」、「人権の花運動」、「人権標語の掲示・発表」

⇒ **上級生がリードし、笑顔あふれる学校にしていこうという姿勢が伝わりました。**

◇ みやわきタイム



北薩：出水市立下水流小学校

- 「思いやり宣言」の設定
「自分たちの問題として考える」、「総務委員会から各学級へ提案」、「代表委員会での話し合い」、「児童集会での宣言」
- 「思いやり宣言」の実行
「全員で力を合わせる運動会種目」、「図書委員会による全校ビブリオバトル」、「総務委員会による朝のあいさつ運動」

⇒ **自分たちで、みんなが「学校が楽しい」と思える学校にするという姿勢が伝わりました。**

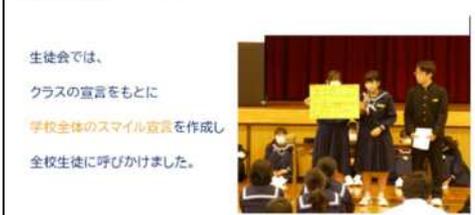


始良・伊佐：湧水町立栗野中学校

- 人権標語・人権ポスターの作成
「全校生徒が作成」、「作品を校内に掲示」
- 「スマイル」をキーワードにした取組
「スマイル活動（生徒会によるあいさつ運動、校内美化活動）」、「スマイルボックス（みんなが笑顔になったことやうれしかったことなどを記入し、校内に掲示）」、「スマイル宣言（生徒会）」

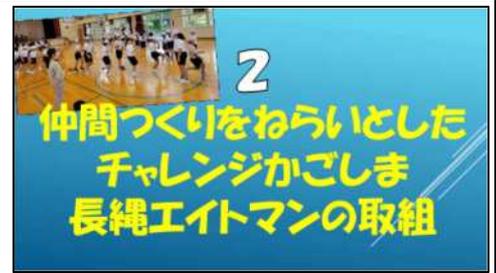
⇒ **生徒会を中心に、一人一人が笑顔で過ごせる学校にしていこうという姿勢が伝わりました。**

④スマイル宣言(生徒会)



大隅：鹿屋市立輝北小学校

- JRC精神の実践と輝北っ子新聞
「気づき・考え・実践する」, 「新聞にまとめ掲示」
 - 仲間づくり
『『チャレンジかごしま・長縄エイトマン』の取組』
 - 異学年交流
「縦割り班活動」, 「郷中教育」
- ⇒ 全校児童で、思いやりあふれる学校にしていこうという姿勢が伝わりました。



熊毛：南種子町立南種子中学校

- いじめ問題を考える週間
「絵本『いじめているきみへ』の朗読」
 - 南中いじめ撲滅宣言
「いじめを『しない』, 『させない』, 『許さない』」
 - 仲間づくり活動
「漢字探しゲーム」, 「異年齢集団・縦割り班活動」
- ⇒ 生徒会を中心に、全校でいじめのない学校にしていこうという姿勢が伝わりました。



大島：天城町立天城中学校

- ありがとうの木の設営
「生徒玄関に一人一人が記載したメッセージの掲示」
 - 人権教室の企画・運営
「合唱曲『怪獣のバラード』から考えよう」
 - みんなが安心して過ごせる学校づくり宣言
「縦割り班での話し合い」, 「生徒玄関に各自の目標とともに掲示」
- ⇒ お互いを尊重し、いじめのない安心して過ごせる学校にするという姿勢が伝わりました。



高等学校：県立武岡台高等学校

- いじめ撲滅宣言
「生徒会による『いじめ撲滅宣言』の策定」
 - いじめを考える週間の取組
『『ピンクシャツ運動*』を参考にした『ピンクリボン』』
※ YMCAピンクシャツデーの取組。ピンクのシャツや小物を身に付けて、いじめストップの意思表示をする。
- ⇒ 生徒会が自主的に企画し、いじめ撲滅に取り組んでいこうという姿勢が伝わりました。



各代表校の発表が終わるごとに、参加者から感想等を発表してもらいました。参加者からは、「いじめだけでなく、人権教室など人権意識が高まるような取組を組み合わせることが大切だと思った。」「一人一人を大切にしたい取組をしていくことで、自然と相手を思いやる心が育まれると感じた。」「他学年との壁をなくした異学年交流の取組が魅力的だと思った。」「昨年度の発表校の取組を自校化して取り組んでいたのがよかった。」「自分たちの学校でも実践したい。」など、これからの取組に向けた積極的な意見が寄せられました。



児童生徒の感想

- 様々な取組を各学校がしていてとても参考になった。感謝の気持ちを伝えたり、いじめ防止を作文やポスター、リボンなどで呼びかけたりしていて、私の学校でも取り組んでみたいと思った。

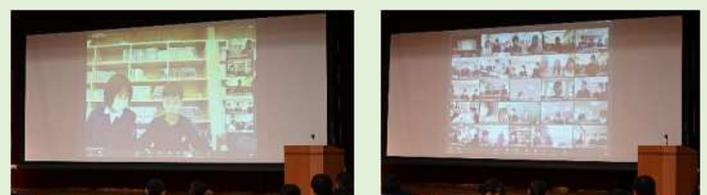
ジュニアリーダークラブ「コアラ」が活躍

「いじめ問題子供サミット」は、平成26年度開始の「いじめ防止子どもサミット」時代から、鹿児島市ジュニアリーダークラブ「コアラ」との共催により行われています。今年も、会場及びオンラインにおける進行や、教材ビデオの脚本作成、議論に参加している児童生徒たちへのアドバイスまで、さまざまな面で活躍してくれました。



オンラインでも活発な意見交換が行われました

今年度は270人以上の児童生徒がオンラインで参加し、代表校の発表視聴や活発な意見交換が行われました。



ACT3 困っている仲間を救うために、自分たちに何ができるか考えよう。



最初に「いじめはよくないこととみんな分かっている。でも、なぜなくなるのか。」について考えたうえで、いじめで困っている仲間を救うために、自分たちに何ができるかについて議論し、まとめました。

参加者からは「『何かあったの?』とまずは話を聞いてあげることが大切だ。」「周りの大人に相談する。」「自分から勇気をもって動く。」「友達や先生に相談しやすい雰囲気をつくる。」といった意見や、「いじめている側に、いじめをしている理由を聞いてみる。」「被害者、加害者どちらにも愛を注ぐ。心のケアも大事だ。」などといった意見が出ていました。

児童生徒の感想

- それぞれのグループで出た意見や考えは異なっていたので、すごく面白いと思った。このサミットで知り得た意見等を友人等に教えたい。
- いじめの解決は簡単ではないが、相談が大事ということを改めて思い知らされた。ポジティブになることや愛が必要なこと、加害者側と被害者側の心のケアも大事という話がすごく心に残った。
- このようなサミットや講習会、人権教室などがあることで、いじめ問題に触れ、一人一人考えが深まると思う。このような機会を学校だけではなく、地域なども一丸となって増やしていけたらいいと思う。



全国いじめ問題子供サミットに参加しました（鹿屋市立輝北小学校）



令和6年1月27日（土）、全国いじめ問題子供サミットが文部科学省で行われ、鹿児島県代表として鹿屋市立輝北小学校の児童3人が参加しました。ポスターセッションでは、用意していたポスターを使って、自校の取組を他県の児童生徒に紹介したり、寄せられた質問に堂々と答えたり、他県の児童生徒の発表を見学したりしました。グループ協議では、与えられたテーマに沿って、他県の児童生徒と議論したり、議論の結果得られた知見等を、壇上で発表したりしました。

参加した3人は、得られた知見をこれからの自校の取組に生かしていきたいと意気込んでいました。

県教育委員会では、いじめを「誰にでも」、「どこでも」起こりうるものとしてとらえ、子供たちの見守りに力を入れることでいじめを見逃さずにしっかりと認知し、早期対応に努めることを基本方針としています。また、児童生徒がいじめの定義や問題の難しさについて学習する機会を充実させ、主体的にいじめの未然防止に取り組むことを推進しています。

このリーフレットや各発表校の取組等を参考に、ぜひ各学校での取組の充実を図っていただきたいと思います。また、各家庭や地域においても、いじめの問題を、子供と一緒に考えていただければ幸いです。

いじめに関する相談窓口(県教委実施)あなたの悩みに寄り添います。

- 電話で相談 **かごしま教育ホットライン24【通話料無料】**
 「0120-0-78310」(固定電話・スマートフォン)、「0120-783-574」(固定電話専用)
- SNS等で相談 **かごしま子供SNS相談・通報窓口（公立中高生が対象）**

かごしま SNS 相談

検索

